

2015年度SIP-adus施策概要

施策名	交通制約者等の移動支援システムの開発に向けた基本設計
担当組織	一般社団法人 UTMS協会

作成者名 加藤 宏

プロジェクトの目標

東京オリンピック、パラリンピック開催期間中における交通制約者等の移動支援、および超高齢化社会における交通制約者等の移動支援の課題に対して、利便性と経済合理性を兼ね備えた、交通制約者等の移動支援システムを実現するための技術開発、方策に関する検討を行う。

今年度の取組内容や結果等の概要

来年度以降のモデル実証に備えるため、信号の状態を音声で知らせたり、歩行横断時の青時間を延長したりして歩行者(高齢者、視覚障害者)の安全を支援し、交通事故の防止を図るシステム(歩行者等支援情報通信システム:PICS:Pedestrian Information and Communication Systems)の高度化に向けた基本設計を実施した。

基本設計は、平成26年度から2か年で行われることが計画されており、今年度はその2年目にあたる。平成27年度は、前年度の対策案をもとに実現性を検討し対象の絞り込みを行い、システムの詳細化を行った。

詳細化を行ったシステムは、「センサーで交通制約者を検知し、自動で歩行者青時間を延長するシステム」や「スマートフォンを通して交通制約者に信号の状態を知らせるシステム」等である。

今後の主な課題、取り組むべき内容

- ・歩行者青時間を確保するための、交通制約者の歩行速度に関する調査。
- ・交通制約者を安全に横断させるための信号現示方式の検討及び検証。また、センサーの設置位置や要件定義等、システム定義に向けた検討。
- ・携帯電話を利用したサービスを実現するための実フィールドによる技術的評価(位置測位精度や通信等)。